



みやぎ高度電子機械産業振興協議会

みやぎ高度電子機械
産業振興協議会

令和元年度 事業計画 (案)

令和元年5月30日

みやぎ高度電子機械産業振興協議会 総会

目 次

- 1 令和元年度 基本方針（案）**
 - (1) 令和元年度基本方針（案）
 - (2) 社会ニーズ対応のイメージ
- 2 令和元年度 重点3分野の取組方針（案）**
- 3 プロジェクト支援事業一覧**
- 4 事務局体制**
- 5 令和元年度 事業計画概要（案）**
 - (1)総会・幹事会・交流会
 - (2)基盤事業
 - (3)主要スケジュール
- 6 令和元年度 県の主な技術開発・取引拡大等支援事業**

1 令和元年度 基本方針（案）

(1) 令和元年度 基本方針（案）

協議会活動の可視化・具体的な目標設定

- ✓ 「県内総生産」, 「製造品出荷額等」における高度電子分野の目標水準を設定
県内総生産 : 4,900億円（10兆円×高電シェア4.9%（直近3年平均））
製造品出荷額等 : 1兆1,717億円（3兆7,199億円×高電シェア31.5%（同上））
- ✓ 協議会活動のKPI設定
商談マッチング数, 新規開発支援数（補助金）会員数 等

ビジネスマッチングのアプローチ転換

- ✓ 県内川下企業の戦略を踏まえた既存サプライヤー支援
- ✓ 自動車の電子化への対応との連携・相互参入に向けた情報収集・提供
- ✓ 医療分野における川下企業とのニーズマッチングの推進
- ✓ 川下企業の研究開発部門や首都圏等川下企業のTier1、2へのアプローチを強化

生産改善と連動したIoT導入支援

- ✓ 生産性向上のための改善活動のツールとしてのIoT導入支援（地元IT企業とのマッチングなどによる“身の丈”IoT）

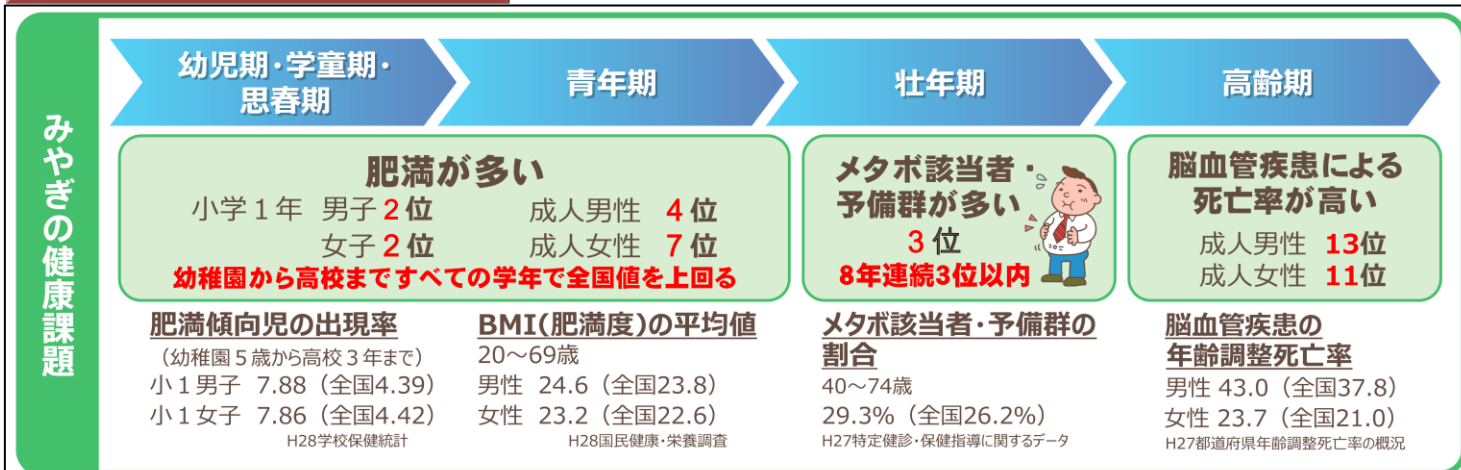
社会ニーズに対応した技術・製品開発の支援

- ✓ 先端テクノロジーや地域企業の強みの社会実装による地域課題解決

1 令和元年度 基本方針（案） (2)社会ニーズ対応のイメージ

例) 健康課題への対応

第2次みやぎ21健康プラン（H30.11）より



アプローチの方向性

- ・自然と健康になるための環境づくり
- ・知識，経済的なものによらない健康づくり

対策の裏付けとして

血圧，血糖値の

- ・日内変動
- ・経過確認

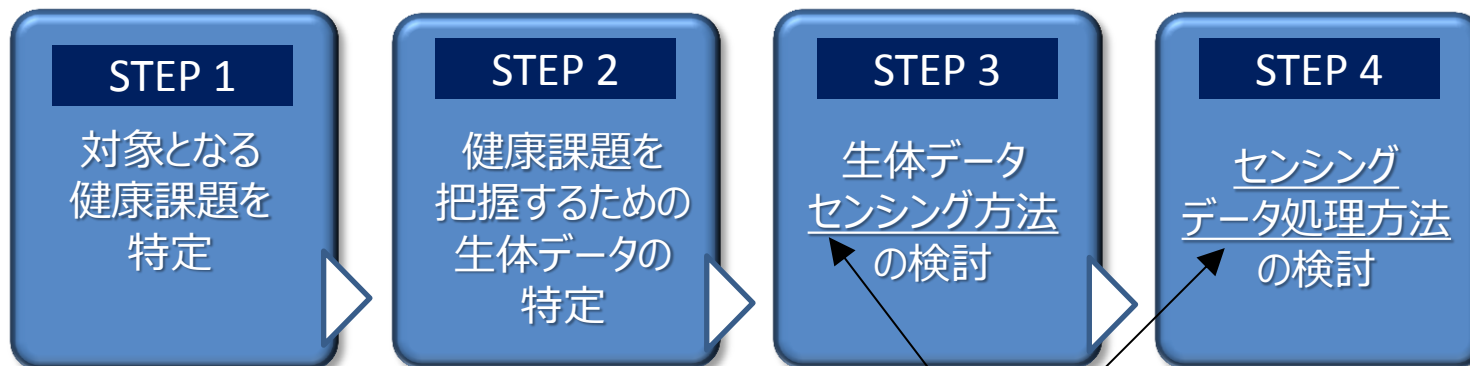
リアルタイム性
膨大なデータ量への対応が必要

主な取組の方向性

- 各地域の健康課題を明らかにし，地域ごとの課題解決に重点的に取り組み，健康格差の縮小を図ります。
- 子どもから大人までライフステージを通じた健康課題に対応し，生活習慣の改善を図るため，**全ライフステージ切れ目なく支援できる体制を整えます。**
- スマートみやぎ健民会議を核とし，市町村，企業・保険者，教育機関，関係機関・団体等と連携し，**引き続き3つの重点**（「減塩！あと3g」「歩こう！あと15分」「めざせ！受動喫煙ゼロ」）を中心にメタボリックシンドロームの減少に重点的に取り組みます。特に，「歩こう！あと15分」を最重点目標とします。
- いつでもどこでも手軽に健康づくりに取り組めるよう，歩きやすいまちづくりや食品企業，飲食店の減塩の取組など，**健康なまちづくりへの社会環境の整備**に重点的に取り組みます。

1 令和元年度 基本方針（案） (2)社会ニーズ対応のイメージ

例) 健康課題への対応（続き）



ものづくり企業の力が必要

例：低・非侵襲センサ、高速・低消費電力半導体チップ…

（参考）政策判断におけるエビデンスの必要性

EBPM（Evidence-based policy making）証拠に基づく政策立案

統計改革推進会議
最終取りまとめ
(H29.5)

現状

- ・我が国では、統計や業務データが十分に活用されず、往々にしてエピソードベースでの政策立案が行われているとの指摘がされてきた。
- ・経済社会構造が急速に変化する中で、限られた資源を活用し、国民に信頼を寄せられる行政を展開するためには、政策部門が、統計等を積極的に活用してEBPMを推進する必要がある。

証拠に基づく政策立案とは

- ・見聞きした事例や限られた経験のみに基づき政策を立案した場合、政策とその効果の分析が不十分
 - ・以下3点が明示されていることが重要
- ①政策立案の前提となる事実認識 ②立案された政策とその効果を結びつけるロジック ③政策のコストと効果の関係

2 令和元年度 重点3分野の取組方針（案）

半導体

- 半導体製造装置等メーカーの研究開発部門やtier1へのアプローチ強化
- 生産性・品質向上による継続的な参入支援
- 東北大学との産学連携による次世代技術市場への参入促進

エネルギー

- 産学官連携によるオープンイノベーションでのリチウムイオン電池活用促進
- リチウムイオン電池関連製品の品質向上支援

医療・健康機器

- 大手メーカー等とのマッチング機会の提供
- 医療現場ニーズを活用した医療分野への参入機会の創出
- 薬事対応，国際認証取得，試作開発等に対する補助事業による支援

航空機

- エンジンメーカー等のtier1， tier2へのアプローチ強化
- エンジン部品以外への参入分野ターゲットの拡大
- 「航空機産業クラスター支援」及び「航空機産業プラットフォーム構築」の促進

3 プロジェクト支援事業一覧

	分野	テーマ
1	医療	医療機器関連製品の開発及び製品化支援『みやぎ版コ・メディカルニーズマッチング』
2	航空機	航空機関連産業への参入に向けた共同受注体強化支援
3	エネ	リチウムイオン電池に関連した高付加価値製品創出
4	半導体	東北大学CIESとの事業化推進
5	生産性・品質改善	3Dプリンター活用促進
6	生産性・品質改善	ロボット開発・活用推進（自動機を含む）
7	生産性・品質改善	“身の丈”IoT導入・活用推進
8	材料等	難削材加工技術の習得による参入促進支援
9	材料等	セルロースナノファイバー分野（CNF）

4 事務局体制

メンバー	人数	役割
参与(高度電子技術産業集積担当)	1名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体総括／協議会活動との調整 小川 勉 氏 (ソニー(株)出身)
高度電子機械産業振興コーディネーター	2名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各プロジェクト事業の運営・調整 ■ 企業発掘・課題・ニーズ収集, 伴走型支援調整 菅野 賢 氏 (セレスティカ・ジャパン(株)出身) 佐々木 義彦 氏 (トーカドエナジー(株)出身)
高度電子機械産業振興アドバイザー	3名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市場参入に向けた指導・助言 【半導体・エネルギー・生産性改善】 金 辰吉 氏 (ソニー(株)出身) ■ 【医療・健康機器】 松下 勇 氏 (TOHOKUものづくりコリドー 地域連携マネージャー) ■ 【航空機】 鈴木 一正 氏 ((株)IHI出身)
産業技術総合センター担当職員	適時	<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術支援, 関係機関との調整 ■ 競争的資金の獲得に向けた情報収集・支援等
新産業振興課担当職員	5名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協議会運営事務



5 令和元年度 事業計画概要（案）

(1) 総会・幹事会

(2) 基盤事業

①市場・技術セミナー

②展示会出展支援

③取引創出・拡大

④情報発信

⑤他団体との連携

⑥その他

(3) 主要スケジュール

5(1) 総会・幹事会

① 総会／講演会／交流会

月 日	令和元年5月30日(木) 14:30～18:30
場 所	仙台国際ホテル(仙台市青葉区)
内 容	<p><u>ア 総会</u> 14:30～14:50 ・平成30年度事業実績／令和元年度事業計画(案) ・役員、顧問の選任</p> <p><u>イ 講演会</u> 15:00～16:50 ・講演Ⅰ:『スマートモビリティ社会の創造に向けて』 講師:トヨタ自動車株式会社 コネクティッドカンパニー Executive Vice President 山本 圭司 氏 ・講演Ⅱ:『当社の歴史から見た、電子部品業界の今後の方向性 ～変化する市場、製品への対応～』 講師:アルプスアルパイン株式会社 常務執行役員 生産担当兼アルプスカンパニー生産本部長 天岸 義忠 氏</p> <p><u>ウ 交流会</u> 17:00～18:30</p>

② 幹事会等

第1回	5月13日	平成30年度事業実績, 令和元年度事業計画(案) 等
役員ヒア	6月下旬～8月下旬	幹事企業訪問(今後の協議会事業についてヒアリング)
第2回	12月中下旬	事業進捗状況, 令和2年度事業方針 等

③ 事業企画ワーキンググループ

第1回	10月下旬	事業進捗状況, 令和2年度事業方針 等
第2回	3月下旬	協議会活動の方向性検討

5 (2) 基盤事業 [①市場・技術セミナー]

重点分野及び新産業分野の市場・技術理解の促進により、取引拡大や参入機会の創出を図るほか、プロジェクト支援事業の展開の参考とすることなどを目的として、前年度アンケート結果等を踏まえながら、計画的、かつ、継続的に開催(関係機関・団体、学術機関等とも連携・共催し、他テーマでも積極的に開催)

分野	テーマ	区分	内容(予定)	開催時期(予定)
全体	IoT	継続	①市場及び技術の最新動向 ②導入事例紹介	9月
	3Dプリンター	継続	①関連産業の最新動向 ②3Dプリンターの生産現場における活用	6, 12月
	材料(CFRP等)	継続	①各材料の市場動向 ②活用ニーズや活用事例 等	1月
	自動化, ロボット	継続	自動化, ロボット導入支援	8月
半導体	基板実装	継続	基板実装及びデバイス技術((一社)エレクトロニクス実装学会との共催)	11月
	半導体プロセス	継続	東北大学電気通信研究所と連携し、半導体の基礎知識をテーマに実施	9月
エネ	Liイオン電池	継続	Liイオン電池の取扱概説	11月
医療	医療分野市場動向	継続	川下企業又は参入企業からの講演	10月
航空機	航空機市場動向	継続	川下企業又は参入企業からの講演	2月

令和元年度出展計画

対象	名称	区分	日程	場所	小間	募集枠
全体	機械要素技術展	継続	2/26～28	幕張メッセ		今後募集 予定
	ネプコンジャパン	継続	1/15～17	東京ビッグサイト		今後募集 予定
エネ	ふくしま再生可能エネルギー産業フェア2019	継続	10/30～31	ビッグパレットふくしま		募集中
半導体	セミコン・ジャパン2019	継続	12/11～13	東京ビッグサイト		今後募集 予定
医療	メディカルクリエーションふくしま2019	継続	11/27～28	ビッグパレットふくしま		募集中
	Medtec Japan 2020	新規	3/16～18	東京ビッグサイト		今後募集 予定
航空機	エアロマート名古屋2019	新規	9/24～26	名古屋市中小企業 振興会館吹上ホール		今後募集 予定

5(2) 基盤事業 [③取引創出・拡大]

ア) 技術交流会・商談会

- ・ 川下企業等を会場に，会員企業の技術プレゼンや製品提示を実施
- ・ みやぎ産業振興機構と連携し，特に首都圏等エリアの大手川下企業のニーズ収集強化を図るため，ニーズ開拓員を新たに配置し，取引創出・拡大を図る。

区分	みやぎ高度電子機械産業振興協議会	みやぎ産業振興機構
事業名	—	ビジネスマッチング強化促進事業
担当	新産業振興課・産技センター	取引支援課
担当者	事務局員・コーディネーター ・ 参与，高度電子班員5名 ・ コーディネーター2名	ニーズ開拓員・マッチング専門員 ・ ニーズ開拓員 3重点分野×1名＝3名 ・ マッチング専門員 1名（県内取りまとめ）
対象者	高度電子機械産業分野の大手メーカー	重点3分野の大手メーカー
エリア	(主に)県内及び隣県エリア	(主に)首都圏エリア
実施内容	・大手メーカーの開発・試作ニーズ収集 ・技術交流会／個別商談等実施 ・高電企業ガイドによる県内企業紹介 等	・大手メーカーの発注ニーズの収集 ・受発注企業一斉商談会開催(首都圏／県内) ・県内企業紹介ガイド作成 等

イ) 個別企業紹介／あっせん

- ・ 事務局で川下企業等訪問や紹介依頼を通じて発注ニーズを把握し，会員企業を個別あっせん
- ・ みやぎ産業振興機構の取引あっせん事業とも連携し，成約率の向上と効率化を図る。

5 (2) 基盤事業 [④情報発信]

① 企業ガイド

ア) みやぎ高度電子機械産業振興協議会 企業ガイドの改訂

継続

- ・ 最新情報に更新し、展示会での配布、川下企業等への紹介に活用
- ・ 令和元年度は、1,600部制作予定
- ・ 6月頃～会員企業に改訂作業開始、10月下旬発行予定



イ) 県内企業紹介冊子の作成

継続

- ・ BM強化促進事業で首都圏等の大手川下企業等へ県内企業の技術や製品を紹介する冊子を作成（部数・発行時期等は未定）

② HP・メーリングリスト等々による会員への情報発信

継続

- ・ 会員企業に有益な各種情報をHPやメールで発信
- ・ 協議会事業のみならず、関係機関・団体、学術機関等の情報も収集、随時発信
- ・ どのような情報が分かりやすくするため、件名欄に項目を掲載

③ 会員企業の基盤技術の情報提供

- ・ 会員企業の基盤技術に応じて、受注獲得が見込まれる川下企業等へ随時発信

5 (2) 基盤事業 [⑤他団体との連携]

ア) 産学連携での共同研究, 会員企業と学術機関とのマッチングの推進

- ▶ プロジェクト支援事業で取り組んでいる産学連携テーマは継続推進
- ▶ その他学術機関のシーズ・ニーズを随時収集し, 会員企業とのマッチングの機会を創出
- ▶ 実証実験等への会員企業の参画促進
- ▶ 研究や実証等で学術機関に出入りする大手メーカーとの交流・マッチングの機会を創出
- ▶ 県補助メニュー等も活用した産学連携による共同開発・製品化の促進

イ) 学術機関による技術課題等の解決支援

- ▶ (継続)「KCみやぎ」による課題解決支援
- ▶ (継続)「東北大学地域産業支援アドバイザー制度」による課題解決支援
 - ・ 学内教授 50名にアドバイザーを委嘱
(分野:ものづくり・評価／デザイン／部品デバイス／農学／経営指導／医工等)
 - ・ 企業 ⇒ 自治体 ⇒ 大学のフローで課題対応

ウ) 東北大学とのセミナー・講習会の共同開催(再掲)

エ) 学術機関で保有する開放機器のリスト化と会員企業への情報提供

- ▶ 東北大学を中心に試験・分析機器等の開放機器を調査・リスト化し, 会員企業の利活用を促進

オ) 学術機関との情報共有化・交流促進

- ▶ 展示会出展情報や学会等の情報を相互に共有し, 会場内で学術機関と会員企業との交流促進

カ) 産業支援機関・団体等との連携強化

5(2) 基盤事業 [⑥その他]

ア みやぎ高度電子機械産業振興アドバイザー派遣

イ 工場見学・交流会

ウ 薬機法申請支援

- ・ 宮城県保健福祉部薬務課と連携して、県内企業の薬機法申請を支援
- ・ 医療・健康機器分野ADによる医療機器製造販売業許可・製造業登録を含めた薬事対応等の助言を実施



エ 人材育成事業

ア) みやぎカイゼンマイスター育成事業の推進

ものづくり企業を巡る環境は人材確保が困難な状況であり、特に中小企業においては生産性改善の取組が急務であることから、業務改善を支援する専門家を「みやぎカイゼンマイスター」として育成



イ) みやぎ高度電子機械人材育成センターによる技術研修の実施

理工系大学、高専学生を対象とした実践的な研修による若手技術人材育成・確保

- ・ 研修名称 みやぎエレメカ研修
- ・ 研修期間 令和元年8月19日～9月6日
- ・ 受講者数 28名(予定)
- ・ 主な内容 エレクトロニクスコース(14名)／メカトロニクスコース(14名)
- ・ 主な会場 ポリテクセンター宮城多賀城実習場、東京エレクトロン宮城(株)
リコーインダストリー(株)、リコーテクノロジーズ(株)

5(3) 令和元年度 主要スケジュール

開催月	総会等	基盤事業			プロジェクト支援事業	
		セミナー	展示会	その他		
04				・訪問ニーズ調査 ・BM／産産連携 ↓	プロジェクト事業推進・候補調査 (会員・川下企業・大学等訪問) ↓	
05	幹事会 総会	・講演会／交流会				
06		・3Dプリンター【全】				
07						
08		・自動化, ロボット【全】				
09		・半導体プロセス【半】 ・IoT【全】	・エアロマート名古屋【航】			
10	WG	・医療市場動向【医】	・再生可能エネ産業フェア【エネ】			
11		・基盤実装【半】 ・Liイオン電池【エネ】	・メディクリふくしま【医】			
12	幹事会	・3Dプリンター【全】	・セミコン・ジャパン【半】			
01		・CFRP【全】	・ネプコンジャパン【全】			・企業ガイド発行
02		・航空機市場動向【航】	・機械要素技術展【全】			
03	WG		・Medtec【医】			

6 令和元年度 県の主な技術開発・取引拡大等支援事業

- ・ 県の支援メニューを活用し、技術・試作開発、取引拡大、新分野参入等を推進
- ・ 小規模企業者への配慮を一層進めるため、補助率の嵩上げ(1/2→2/3)等を実施

種別	名称	区分	内容	補助率等
技術・試作開発関連	新規参入・新産業創出等支援事業 【成長分野参入支援型】	継続	川下企業、大学等からのニーズに対する試作開発等経費の一部支援 ＜募集期間＞ 4/19～12/18(随時募集)	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限3,000千円
	新規参入・新産業創出等支援事業 【地域イノベーション創出型】	継続	産学官連携による技術・製品開発等の経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/19～5/31	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限4,000千円
	新規参入・新産業創出等支援事業 【グループ開発型】	新規	産産連携・産学連携のグループの研究・技術開発費用の一部を支援(最長3年間) ＜募集期間＞ 4/19～5/31	補助率1/2 上限10,000千円/年
	医療分野参入促進事業 【試作開発型】	継続	試作開発、薬事対応、販路開拓等、医療・健康機器市場参入を目指して取り組む経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/19～5/31	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限5,000千円
	金属粉末積層3Dプリンター利用補助金	継続	試作開発等のために金属3Dプリンターを利用する経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 6月頃予定	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限825千円
参入	高度電子機械産業 国際認証取得奨励金	継続	航空機及び医療・健康機器市場への参入を目指して、JISQ9100、ISO13485等の認証取得経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/1～(随時募集)	500千円 ※コンサル指導有 1,000千円